

人文学の研究不正が 問いかけること -最近の事例より-

講師

小柳 敦史 氏 (北海学園大学 人文学部)

東洋英和女学院の院長であった深井智朗氏による研究不正は、深井氏の知名度や社会的地位のみならず、架空の人物を捏造したという話題性もあり、大きなニュースとなりました。

人文学に携わる者にとって今回の研究不正は、一つのエピソードとして片付けられるものではなく、人文学の学問性や研究倫理について考える契機とすべきものではないでしょうか。

今回の講演では、深井氏の研究不正の発覚に関わった立場から、深井氏の研究不正がどのようなものであったのかを整理し、それが生み出された背景にはどのような問題があるのかを指摘することで、人文学の研究倫理について考えるための手がかりを参加者の皆さまと共有したいと思います。

司会：宮嶋 俊一 (北海道大学)

コメンテーター：蔵田 伸雄 (北海道大学)

2019年 10月30日 (水)

18:15~19:45

北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟 W409室

※参加自由・申込不要 (定員100名)